

令和4年度 社会福祉法人銀河事業報告

1.基本理念

すべての人が平等に、普通に安心して暮らすことができるノーマライゼーションの理念に基づき、「ともに暮らし、ともに生きることのできる社会」の実現をめざすとともに、障がいの有無にかかわらず、基本的人権を享有する個人を尊重し、地域の中で共生した生活を営む為に必要な福祉事業の充実を目指す。

基本方針

利用者本位の考え方に立って、個人の多様なニーズに対応する支援体制の整備やサービス基盤の充実を促進し、障がいの有無にかかわらず安心して暮らせる地域社会の実現に向けた体制を確立する。

また、ライフサイクルを通じて切れ目のない各種サービスの提供を図り、地域生活の支援を促進する。

2.沿革

- 平成 12 年 8 月 社会福祉法人 銀河 設立
- 平成 13 年 4 月 知的障害者更生施設(通所)すばる開設
- 平成 16 年 3 月 児童短期入所・居宅介護事業開始
知的障害者短期入所・居宅介護事業開始
- 平成 18 年 2 月 福祉有償運送開始
- 平成 18 年 7 月 菓子製造業許可(県北保健所)
- 平成 18 年 10 月 障害福祉サービス事業(居宅介護事業)開始
- 平成 19 年 3 月 障害福祉サービス事業(移動支援)開始
公益を目的とする事業 地域生活支援事業(日中一時支援)開始
- 平成 24 年 4 月 「知的障害者更生施設(通所)すばる」から、「生活介護事業所 すばる」へ変更
障害福祉サービス事業(共同生活介護・サンハイツ葎ケ入Ⅱ)開始
- 平成 26 年 4 月 障害福祉サービス事業(共同生活援助・サンハイツ葎ケ入Ⅱ)
ケアホームとグループホーム一元化等に伴う改正
改正内容、共同生活介護事業(ケアホーム)から
共同生活援助事業(グループホーム) 介護サービス包括型へ変更
- 令和 2 年 12 月 障害福祉サービス事業(共同生活援助・サンハイツ葎ケ入Ⅲ)建設
令和 2 年 12 月 25 日 建設完了
- 令和 3 年 4 月 障害福祉サービス事業(共同生活援助・サンハイツ葎ケ入Ⅲ)事業開始
令和 3 年 4 月 1 日付け 運営開始

3. 事業

平成 29 年度に社会福祉法人の制度改革が実施された。それに合わせて変更を行った。

制度改革の概要

- 1 経営組織のガバナンスの強化
- 2 事業運営の透明性の向上
- 3 財務規律の強化
 - ・適正かつ公正な支出管理
 - ・いわゆる内部留保の明確化
 - ・社会福祉充実残額の社会福祉事業等への計画的な再投資
- 4 地域における公益的な取り組みを実施する責務
- 5 行政の関与の在り方

(1) 提供サービスの充実を図るとともに施設老朽化の改善のため、以下の事業に取り組んだ。

■法人本部

- ・食缶・器具消毒保管機購入 ¥689,700 円
(内 公益財団法人 遠藤医療福祉助成財団助成事業より¥500,000 円の助成)

■生活介護事業所 すばる定員 35 名

- ・自動給水ポンプ修理・部品交換 ¥346,500 円
- ・新型コロナウイルスの施設内でのクラスター発生を受け、令和 4 年9月2日～9月4日、同年9月7日～9月11日の期間について利用者の受け入れを休止した。同期間内、職員は書類の整理と施設内の清掃、消毒を行った。

■共同生活援助事業所 サンハイツ菟ヶ入Ⅱ 定員 12 名

- ・ヒートポンプ給湯器 ¥214,500 円×2 台 更新工事費 ¥407,000 円
- ・新型コロナウイルスの施設内でのクラスター発生を受け、令和 4 年9月2日～9月19日の期間について、自宅に戻れない一部の利用者を除き、受け入れを休止した。

■地域生活支援事業(市町村事業)対象者(知的障がい児・者及び身体障がい者)

日中一時支援事業 おりおん 定員 10 名

移動支援事業 こんぱす

- ・新型コロナウイルスの施設内でのクラスター発生を受け、令和4年9月2日～9月4日、同年9月7日～9月11日の期間について利用者の受け入れを休止した。
他事業所の利用者へも受け入れを休止している旨を説明し連絡した。

(2) 地域福祉活動については、新型コロナウイルスの為、全事業休止した。

(3) 令和5年3月24日コンピューターウイルスに感染した。サーバー内のデータがすべて消去された。

4. 評議員会・理事会の開催状況

理事会は 5 月・3 月の 2 回、評議員会は 6 月・3 月の 2 回の開催となった。

(1) 評議員会、理事会開催月日及び主な審議議案

第1回理事会 令和4年5月27日

議案第1号 令和3年度事業報告並びに決算報告について

監査報告:監事

議案第2号 社会福祉充計画の承認について

議案第3号 諸規定の変更について

議案第4号 評議員会について

第2回理事会 令和5年3月17日

議案第1号 令和4年度 第1回補正予算について

議案第2号 令和5年度 事業計画について

議案第3号 令和5年度 当初予算について

議案第4号 評議員会について

第1回評議員会 令和4年6月11日

議案第1号 令和3年度事業報告並びに決算報告について

議案第2号 社会福祉充実計画の承認について

第2回評議員会 令和5年3月25日

議案第1号 令和4年度 第1回補正予算について

議案第2号 令和5年度 事業計画について

議案第3号 令和5年度 当初予算について

令和4年度 生活介護事業 すばる事業報告

[I] 概要

1. 運営方針

すばるは、知的障害者福祉法に規定された生活介護事業所の設置目的をふまえながら、利用者と職員との家族的な生活共同体を基盤にして、個々の利用者の発達段階に応じた発達支援を行いながら、利用者の豊かな生活形成を具体化する。

更に家庭や地域社会との協力関係を保ちながら、利用者が施設ではもちろん、家庭や社会においても豊かな生活形成が可能になるように支援する事を運営・支援の基本とする。

2. 施設の概況

- (1) 定員 35名
- (2) 現員 31名(男子19名、女子12名) (令和5年3月1日現在)
- (3) 敷地面積 1147.74㎡(本宮市より借地)
- (4) 建物面積 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 二階建て 591.63㎡

[II] 運営管理状況

1. 事業計画実施状況

平成25年4月より「生活介護事業所」に移行し、今年度は男子利用者19名、女子利用者12名、計31名(定員35名)の利用者となった。重度、最重度が22名であり、自閉症、身体障がい、精神障がいなど重複障書が多い為、今年度も利用者の基本的人権と個々の尊厳を尊重し、能力や発達状況に応じて、個別または小集団で必要な支援サービスを提供しながら、[III]利用者処遇状況の1、実施状況①～⑤を配慮事項として利用者支援を行なった。

[III] 利用者処遇状況

1、実施状況

基本理念の目標達成のため、令和4年度は、下記の重点目標について支援を展開実施してきた。

- ① 利用者、家族、職員を構成員とした生活共同体としての意識形成
- ② 利用者個人のニーズに対応した生活条件、環境の整備
- ③ 地域社会と連携した施設運営
- ④ 地域生活支援事業やグループホームと連携した支援
- ⑤ 事務省力化と効率化

①利用者、家族、職員を構成員とした生活共同体としての意識形成

- ・ 毎日、利用者の活動内容や健康状況について、送迎時や連絡帳を通じて家庭に報告すると共に、家庭での生活の様子や健康状態についても連絡を取り合い、密にすることで利用者状況に応じた支援を行なった。

・ 令和4年10月と令和5年3月に、利用者、保護者、職員の三者による個別懇談を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、施設での懇談または、書面での対応を保護者に選択してもらった。

保護者1名が対面での個別懇談を希望した。

書面での対応では、個別支援計画の変更点を明示し、理解しやすいように配慮した。

利用者、保護者の意見を尊重しながら、個々の利用者にあった個別支援計画を作成した。

利用者の自己選択、自己決定、自己実現、自己達成に向けて取り組んだ。

・ 新型コロナウイルスの施設内でのクラスター発生を受け、令和4年9月2日～9月4日、同年9月7日～9月11日の期間について利用者の受け入れを休止した。同期間内、職員は書類の整理と施設内の清掃、消毒を行った。

②利用者個人のニーズに対応した生活条件、環境の整備

・ みんなが笑顔で生活が出来ることを目指し、一人一人の個人を尊重しながら活動に取り組めるよう支援を行なった。

・ 障がいの程度に関わらず、作業を通して充実感や達成感を感じ、働く喜びも感じられるように活動内容を組み立てた。下請け作業では、障害の重い人でも取り組めるグリップもぎ取り作業や、数種類のマットを仕分けして箱詰めするミラーマット、ボタン入れ等に取り組んだ。また、自主製品としては牛乳パックを原材料とした和紙製品(ランチョンマット、コースター、はがき等)や刺し子ふきん、雑巾などの縫製作業に取り組んだ。

・ 空き缶回収作業は、近隣住民、利用者家族、職員への協力を呼びかけ、毎週金曜日を回収日とし、回収した空き缶は洗浄、分別をし、市内の業者へ納入を行った。

・ 昨年度に引き続き、あだたら育成園での移動販売活動と複合施設「えぼか」内喫茶コーナー「まあぶる」での活動、村田製作所で自主製品の販売については、新型コロナウイルスの影響により、中止している。再開時期は未定。

・ 利用者が自分たちの生活について考え、自主的、自発的に意見交換を行なう場として自治会(名称こいのぼり会)活動を行なっている。毎年4月に役員選挙を行い、任期は5月から翌年4月としている。毎月1回、役員会と全体会を行い、自治会活動計画、行事計画などを通し、利用者一人一人が意見を出し合い、自分たちの生活について考える時間を設けた。

・ 外出する機会がないため、「ジョイフルクッキング」の機会を増やした。6月・8月・10月・3月に実施した。利用者と職員で食べたい物を検討し、注文をした。以前は職員の手作りが多かったが、コロナウイルスの影響を考慮し、食堂等のテイクアウトを利用した。利用者にとっても好評であり、継続していく。

・ ティータイムの時間を延長し、施設内でジュースを飲んだり、ケーキを食べたりする時間を増やした。利用者にはおおむね好評だった。来年度も継続する。

・ 健康面においては、利用者が肥満便向にあるため、食事面や運動面にも配慮した。食事では利用者、家庭の理解と協力を得ながら、外注弁当のご飯やおかずの量を調整し、摂取カロリーの調整を行なった。

新型コロナウイルス感染症の影響や、天候が安定しなかったため、ウォーキングの実施は難しかった。

年度末の個別懇談時に利用者の一年間の体重の推移をグラフ化したものを保護者に渡した。

・ 午前の作業終了後は、よさこい2曲とダンス2～3曲に取り組む時間に設定し、毎日取り組んでいる。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、外出を伴う行事をすべて中止した。

③ 地域社会と連携した施設運営

- ・ 昨年に引き続き、「G フェス」、本宮市社会福祉協議会主催「ふれあい芋煮会」は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- ・ 今年度も本宮市にある高齢者デイサービス利用者の誕生プレゼント作成を委託された。新型コロナウイルス感染症の影響で、誕生会への外部の参加を中止するとのことだったため、プレゼントの作成とお届けのみとなった。
- ・ ラジオ出演や、本宮ライオンズクラブ様主催のそば打ち例会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となった。

④ 地域生活支援事業及び、グループホームとの連携

- ・ 朝・夕の打ち合わせや、連絡服の利用により、「すばる」、「グループホーム」、「地域生活支援事業」の三者間の情報の共有化に努めた。その結果、夜間の様子や休日の様子が職員に伝わり、多くの情報を得て、よりよい支援を提供することができた。

⑤ 事務省力化と効率化

- ・ コンピューターネットワークを作り情報の共有化をはかり、また、支援費対応ソフト「福祉見開録」をリリースし事務の省力化、効率化をはかった。

2. 主要行事実施状況

名称	実施時期	場所	実施内容
花見	4月	すばる	まゆみ小学校の桜を見ながらお菓子の詰め合わせと飲み物を楽しんだ。
七夕会	7月	すばる	利用者と職員で吹き流しや提灯を作成、装飾し、ボールすくいや射的を楽しんだ。
テイクアウト食事会 ジョイフルクッキング	6月 8月 10月 3月	すばる	6月 松屋のテイクアウトを利用した。 8月 そうめんを食堂で食べた。 10月 マクドナルドのテイクアウトを利用した。 3月、すき家のテイクアウトを利用した。
クリスマス会	12月	すばる	施設内で実施した。利用者と職員で、カラオケを楽しんだ。着ぐるみなどで仮装し、楽しんできた。
新年会	1月	すばる	新年を迎えられたことを喜び、正月の遊びやゲームを楽しんだ。
豆まき	2月	すばる	年男・年女が中心となり、施設内の豆まきをした。利用者の希望者と職員が鬼役となり、仮装をした。
誕生会	毎月 11月と3月を除く	すばる	誕生者を祝った。 施設長の言葉や自治会長からのお祝いなどを行い、その後ケーキを食べた。また、カフェすばるも同時に実施し、飲み物を数

契約者数	男	20	21	21	20	19	19	19
	女	13	13	13	13	13	12	12
	計	33	34	34	33	32	31	31
	前年比	男性+1	男性+1	±0	男性-1	男性-1	女性-1	±0

〔V〕保健衛生状況

知的に障がいを持つ人たちは、てんかん、身体障がい、弱視、難聴、聾啞、言語障がい、虫歯、皮膚疾患、糖尿病等、合併するものが多く、また虚弱体質、肥満体質のものも多いので、特別の配慮が必要である。特に重度、最重度といわれる人たちは、異常を訴えることができない人や、自分自身で管理できない人が多い。

そのため生活習慣病予防の観点からも日ごろの衛生管理や健康管理が大切であるため、日常の生活における健康に留意し、施設内の清潔を保つとともに伝染病の発生予防と事故発生防止、体位の維持・向上を図るよう毎日の活動時や、毎日の昼食後の歯磨きなど、指導管理を実施してきた。

1. 健康診断実施状況

保健衛生計画に基づき下記のように健康診断を実施した。

- ・定期健診(年1回)嘱託医が年1回施設で検診を実施した。

令和5年3月(問診等)

- ・健康診断(年2回)協力医による検診を実施した。

令和4年7月(問診、聴打診、血圧測定、尿検査、血液検査、胸部レントゲン)

令和4年11月(問診等)

- ・インフルエンザ予防接種(希望者)

令和4年11月

- ・体重・体脂肪、血圧測定(毎月1回)

看護師による体重、体脂肪、血圧測定を実施し、連絡帳を通じ家庭へ報告した。

また、1年間の体重の推移をグラフ化したものを、令和5年3月に保護者へ渡した。

1. 新型コロナウイルス感染症への対応について

- ・通所後の検温は以前から実施していたが、通所前の検温を各家庭に依頼している。職員も通勤前に検温を行い、結果を所定の用紙に記入している。また、施設への訪問者等についても検温の協力を仰ぎ、37.5℃以上の発熱を確認した時は、玄関先での対応とした。又、施設内に入る際には、玄関先で手指の消毒をしてもらっている。現在も継続中。

まあぶるでの活動は、昨年に引き続き中止している。

- ・令和4年度の行事のうち、Gフェス等の人が集まる行事や、外出を伴う行事や活動を中止した。その代わり施設内で行う食事会の回数を増やし、利用者と職員が触れ合う時間を確保した。
- ・密にならないよう、活動場所や食事提供の場所を2ヶ所に分けた。
- ・新型コロナウイルスに本人、または同居人が感染した場合は、国または、市町村のガイドラインに従って施設の利用をしてもらうようお願いした。

- ・ 施設内の消毒を徹底した。施設内の机や椅子、活動時に使用した用具は、利用者帰宅後に毎日必ず消毒をした。
- ・ 1日2回(午前・午後)、利用者の検温を実施した。
- ・ 通所時、活動室に入室した際の手指消毒を徹底した。
- ・ 歯磨き支援の際は、必ずフェイスシールドを着用して対応にあたった。
- ・ 利用者送迎等で車を使用した際は、使用後に車内の消毒を行った。
- ・ 支援中の職員はマスク着用とし、利用者にも出来る限りマスクを着用出来るように支援をした。

理事長	管理者	副管理者	担当

貸借対照表内訳表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	拠点区分合計	社会福祉法人 銀河				
		本部	すばる	GH	日中一時	移動支援
流動資産	150,559,642	10,917,390	102,096,989	13,919,722	23,258,574	366,967
固定資産	171,688,602	15,937,283	81,525,941	74,225,378	0	0
基本財産	105,864,474	0	35,439,437	70,425,037	0	0
その他の固定資産	65,824,128	15,937,283	46,086,504	3,800,341	0	0
資産の部合計	322,248,244	26,854,673	183,622,930	88,145,100	23,258,574	366,967
流動負債	17,842,719	0	2,978,902	14,148,917	709,530	5,370
固定負債	22,721,989	0	7,855,989	14,866,000	0	0
負債の部合計	40,564,708	0	10,834,891	29,014,917	709,530	5,370
基本金	44,908,215	0	44,908,215	0	0	0
国庫補助金等特別積立金	17,367,068	0	15,742,849	1,624,219	0	0
積立金	44,100,000	13,200,000	30,900,000	0	0	0
次期繰越活動増減差額	175,308,253	13,654,673	81,236,975	57,505,964	22,549,044	361,597
純資産の部合計	281,683,536	26,854,673	172,788,039	59,130,183	22,549,044	361,597
負債及び純資産の部合計	322,248,244	26,854,673	183,622,930	88,145,100	23,258,574	366,967

理事長	管理者	副管理者	担当

資金収支内訳表
(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		合計	社会福祉法人 銀河							
			本部	すばる	GH	居宅支援	日中一時	移動支援	諸 口	
事業活動による収支	収入									
	障害福祉サービス等事業収入	117,679,471	670,000	73,690,209	31,165,712	0	9,822,270	2,331,280	0	
	経常経費寄附金収入	358,800	0	358,800	0	0	0	0	0	
	受取利息配当金収入	23,790	14,156	9,306	120	0	205	3	0	
	その他の収入	4,686,873	0	4,251,123	435,750	0	0	0	0	
	事業活動収入計(1)	122,748,934	684,156	78,309,438	31,601,582	0	9,822,475	2,331,283	0	
	支出									
	人件費支出	97,204,943	357,000	58,585,211	27,315,142	0	8,623,540	2,324,050	0	
	事業費支出	6,525,648	580,560	5,293,479	131,928	0	335,000	184,681	0	
	事務費支出	10,774,218	871,326	8,969,330	648,857	0	182,000	102,705	0	
支払利息支出	216,460	0	0	216,460	0	0	0	0		
事業活動支出計(2)	114,721,269	1,808,886	72,848,020	28,312,387	0	9,140,540	2,611,436	0		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	8,027,665	-1,124,730	5,461,418	3,289,195	0	681,935	-280,153	0		
施設整備等による収支	収入									
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還支出	1,908,000	0	0	1,908,000	0	0	0	0	
	固定資産取得支出	1,642,300	0	806,300	836,000	0	0	0	0	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	792,000	0	792,000	0	0	0	0	0	
施設整備等支出計(5)	4,342,300	0	1,598,300	2,744,000	0	0	0	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-4,342,300	0	-1,598,300	-2,744,000	0	0	0	0		
その他の活動による収支	収入									
	積立資産取崩収入	657	0	657	0	0	0	0	0	
	サービス区分間繰入金収入	1,400,000	1,400,000	0	0	0	0	0	0	
	その他の活動による収入	10,512,000	0	0	10,512,000	0	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	11,912,657	1,400,000	657	10,512,000	0	0	0	0	
	支出									
	サービス区分間繰入金支出	1,400,000	0	700,000	0	0	700,000	0	0	
	その他の活動による支出	5,328,000	0	0	5,328,000	0	0	0	0	
	その他の活動支出計(8)	6,728,000	0	700,000	5,328,000	0	700,000	0	0	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	5,184,657	1,400,000	-699,343	5,184,000	0	-700,000	0	0	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	8,870,022	275,270	3,163,775	5,729,195	0	-18,065	-280,153	0		
前期末支払資金残高(11)	123,846,901	10,642,120	95,954,312	-5,958,390	0	22,567,109	641,750	0		
当期末支払資金残高(10)+(11)	132,716,923	10,917,390	99,118,087	-229,195	0	22,549,044	361,597	0		

理事長	管理者	副管理者	担当

事業活動内訳表

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目	合計	社会福祉法人 銀河						
		本部	すばる	GH	居宅支援	日中一時	移動支援	諸 口
サービス活動増減の部								
収益								
障害福祉サービス等事業収益	117,679,471	670,000	73,690,209	31,165,712	0	9,822,270	2,331,280	0
経常経費寄附金収益	358,800	0	358,800	0	0	0	0	0
サービス活動収益計(1)	118,038,271	670,000	74,049,009	31,165,712	0	9,822,270	2,331,280	0
費用								
人件費	97,204,286	357,000	58,584,554	27,315,142	0	8,623,540	2,324,050	0
事業費	6,525,648	580,560	5,293,479	131,928	0	335,000	184,681	0
事務費	10,774,218	871,326	8,969,330	648,857	0	182,000	102,705	0
減価償却費	11,415,790	488,712	3,984,971	6,942,107	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	-1,697,784	0	-1,140,909	-556,875	0	0	0	0
サービス活動費用計(2)	124,222,158	2,297,598	75,691,425	34,481,159	0	9,140,540	2,611,436	0
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-6,183,887	-1,627,598	-1,642,416	-3,315,447	0	681,730	-280,156	0
サービス活動外増減の部								
収益								
受取利息配当金収益	23,790	14,156	9,306	120	0	205	3	0
その他のサービス活動外収益	15,198,874	1	4,251,123	10,947,750	0	0	0	0
サービス活動外収益計(4)	15,222,664	14,157	4,260,429	10,947,870	0	205	3	0
費用								
支払利息	216,460	0	0	216,460	0	0	0	0
その他のサービス活動外費用	5,328,000	0	0	5,328,000	0	0	0	0
サービス活動外費用計(5)	5,544,460	0	0	5,544,460	0	0	0	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	9,678,204	14,157	4,260,429	5,403,410	0	205	3	0
経常増減差額(7)=(3)+(6)	3,494,317	-1,613,441	2,618,013	2,087,963	0	681,935	-280,153	0